

純正ナビを120%使いこなす!

# BMW ZUMO 550

## 徹底活用術



BMW zūmo

いま、ビーエム乗りの間で大人気のツールがGPSナビゲーションシステムだ。なかでもメーカー純正の「BMW ZUMO550」は、多くのユーザーが愛用している。このナビは道案内だけでなく、その多彩な機能から旅の中で様々な遊び方が可能だ。しかし、ナビオンリーで使用するユーザーが多いのも、また事実。そこで、この最高峰ナビを「最強の旅の相棒」に仕立てる技を伝授しよう!

Photo/Naoyuki Shibata, Jun Arata Text/Kazunari Uchida  
取材協力:BMW Japan TEL0120-55-3578 <http://www.bmw-motorrad.jp/>

その機能も最新のロードマップによるナビゲーションはもちろん、Bluetoothを介した音声ナビ、携帯電話のハブ、MP3プレーヤーと、単にモーターサイクルナビというよりも多機能情報端末といえる内容を備えているのである。

ZUMOの前身に当たるストリートパイロットは、ファンクションキーが本体前面に配置され、グリップをはめた指では操作がしにくかったが、ZUMOではタッチパネル方式を主体として、グリップをしたままタッチしても的確に反応し、さらに直感的に操作できるようにになった。堅牢性、信頼性の高さは他の汎用モデルとは明らかに一線を画している。

**B** MW純正モデルのベースになったゲーミング「ZUMO (ズーモ) 550」は、バイク専用GPSナビの決定版として07年に日本版が登場した。ゲーミングのモーターサイクルGPSは、パリダカなどのラリーレイドでは古くから必須装備とされ、防振、防塵、防水性の高い堅牢なモデルとしてプロレーサーからも厚く信頼されてきた。01年には欧米のロードマップを搭載したモデルが初めてBMW純正モーターサイクルナビとして採用され、欧米のカタログにオプション設定された。日本のBMWライダーは、その頃から純正ナビを心待ちにしていたが、それがようやく日本でも購入できるようになった。

### 表示画面はとっても見やすい!



大型のアイコンや曲がり角でのクローズアップ表示など、ヘルメットのシールド越しにも見やすく、操作もしやすい

### トップカバーも用意



ブラック1色が精悍なBMW ZUMOだが、通常のグラフィックのトップキャップの他にロゴをあしらったキャップも用意されている

### 全国のBMWディーラーが登録されている

A-BIG MOTORRAD

東京都 府中市  
宮前町 2-15-1  
042-366-2020

出発

戻る メニュー 地図 保存

目的地検索画面からは、あらかじめ登録されている全国のBMWディーラーを検索できるので、旅先でも安心だ

### 車体への取付けもスッキリ



汎用のナビなどと異なり、BMWの車種毎にぴったりフィットするマウントが用意されている



### BMW ZUMO 550

#### Specifications

価格:9万9750円(本体のみ・取付工賃別)  
重量:305g  
液晶:3.5インチ  
メモリ:2GB内蔵メモリ  
電源:DC12V、AC100V、リチウムイオンバッテリー  
バッテリー駆動:最大4時間  
外部接続:USB



トップ画面上に左のBluetoothマークとヘッドセットマークが表示されていれば接続が完了している



「ヘッドセット接続」画面を選択する。下の「Bluetooth」が「有効」になっているかも確認しよう



しばらくすると、「成功」の表示画面が出る。一度、記憶するとデータが残るので便利だ



新たに接続する場合は下の「機器を追加」し、検出画面へ。数字コードは「0000」が一般的だ



**Cellular Line interphone F4**  
3万2800円(シングル)、6万2800円(ペア)

数あるBluetooth対応インターコムの中で最高峰スペックを誇るのがコチラ。本体は完全防水で、風切り音カット機能などが充実し、音声もクリアだ

問：トヨー産業 TEL03-6303-0030

technique  
**07**

**インターコムを  
ハブとして活用する**

**安全運転の味方  
音声案内を活用**

ZUMOを使っていてもっとも便利だと感じるのは、やはり音声案内だ。曲がり角や側道を進む場合、接近アナウンスから直前までの確に誘導してくれる。ライダーは初めて通る道でも、ナビ画面を見ながら安全に進んでいくことができる。これを活用するためには、Bluetooth対応のインターコムが必要で、ペアリングという作業をしなければならぬが、ZUMOの機能を最大限生かすために、ぜひ揃えたい装備だ。ちなみに、Bluetooth対応の携帯電話と組み合わせれば、ZUMOをハブにして受発信も可能だ。

**セルラーライン・インターフォンF4とナビを連動させる**



インターフォンF4がペアリングモード中に、ナビ側では写真○印のBluetooth画面をタッチする

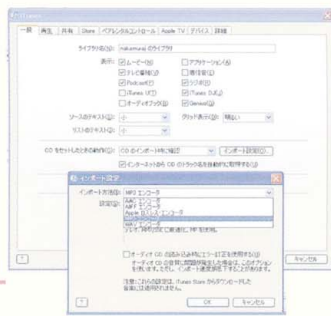


今回はインターフォンF4を使ってテスト。写真○のボタンをインジケーターが赤・青点滅するまで(8秒以上)押す。原則、Bluetooth対応品であればワイヤレスで接続可

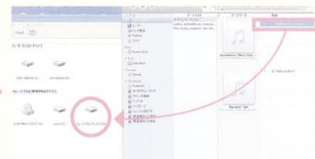
**「設定画面」へ**

**iTunesの「編集」**

「設定」画面から「一般」を選択し、「インポート設定」をクリック。ココでAACファイルからMP3ファイルを選ぶ



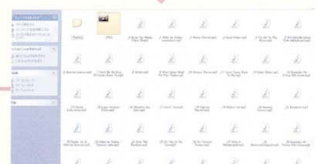
MP3ファイルにしたい曲を選択して右クリック。写真○の「MP3バージョンを作成」を選択して再録音する



MP3ファイルで作成した曲を、マイコンピュータ画面にあるSDカードへコピーする



ナビを起動して♪マークの音楽画面に移れば、SDカード内のお気に入りの音楽を再生することができる



2GBのSDカードであれば、約200曲まで収納することができる。コピーし終わったらSDカードをナビへ

technique  
**08**

**SDカードがあれば  
200曲が持ち運べる**

**MP3プレーヤーとして  
ZUMOを使う**

ZUMOはSDカードスロットを装備している。SDHC仕様のSDカードも認識するので、大容量の記憶媒体として使用可能だ。そこで、音楽データを収納しておけばMP3プレーヤーとして、インターコムを通して音楽が楽しめる。ただし、再生できるのはMP3データのみ。メディアプレーヤーではMP3データで再生されるので問題ないが、iTunesではAACファイルが使用されている。そこで、フォーマットのデータは、ファイル変換するかMP3ファイルとして再録音する必要がある。ここでは、iTunesユーザーのために再録音の方法を伝授する。

**iTunesからMP3ファイルに変換する**



iTunesでは音楽再生のファイルが「AACオーディオファイル」となる。このファイルをSDカードに入れても音楽再生は不可で、変換作業が必要となる。なお、ここではバージョン9で作業を行った



ZUMOの写真○部分にはSDカード(2GBまで対応)が内蔵できる。このSDカードにMP3データを入れれば好きな音楽が楽しめる